

図書館へいこう!

話題の新着本

『マスカレード・ゲーム』

東野 圭吾/著

解決の糸口すらつかめない3つの殺人事件。共通点は、被害者がみな過去に人を死なせた者であることだった。被害者たちを憎む遺族らがホテル・コルテシア東京に宿泊することが判明し、新田浩介は再び潜入捜査を開始する。



『花散る里の病棟』

常木 蓬生/著

大正時代、蛔虫退治で評判を取った初代。軍医の二代目。高齢者を見る三代目。そして肥満治療を手がける四代目の僕はコロナ禍で…。地方に生きる医師の家を通じて、近現代日本の医療現場を描く。

『マイクロスパイ・アンサンブル』

伊坂 幸太郎/著

失恋したばかりの社会人と、元いじめられっ子のスパイ。知らないうちに誰かを助けていたり、誰かに助けられたり…。ふたりの仕事は交錯する現代版おとぎ話。



『夏が破れる』

新庄 耕/著

いじめをきっかけに不登校となっていた中学生の進は、親の勧めで夏の2ヶ月を沖縄の離島で過ごすことになる。大人たちの恐ろしい素顔を目の当たりにした進は、命がけの脱走を図るが…。

『スクイッド荘の殺人』

東川 篤哉/著

鵜飼探偵事務所に依頼人が。烏賊川市の有力企業社長が、スクイッド荘に同行し、脅迫者から護ってほしいという。断崖絶壁に建つ奇妙な形のスクイッド荘は、いかにも怪事件が起こりそうで…。



『ハロー・グッドバイ』

小路 幸也/著

田町家が取り壊され増谷家・会沢家として生まれ変わろうとするなか、ついに「かふえ あさん」の夜営業が始まる。見慣れないお客さんとともに、不思議な事件も舞い込み…。「東京バンドワゴン」シリーズ。

『布武の果て』

上田 秀人/著

茶の席で武将たちの情勢を探り、合戦に欠かせない鉄炮や硝石の手配を一手に握った堺商人たち。彼らの目を通して見た、織田信長の姿とは。「本能寺の変」の真相とは…。



『渚の螢火』

坂上 泉/著

沖縄本土復帰直前に起きた100万ドル強奪事件。その裏に隠された日米の間で翻弄され続ける残酷な島の現実。様々な思いを抱えながら、琉球警察の捜査員たちは事件解決を目指す…。ノンストップサスペンス。



今月のBEST本（4月の貸出回数上位本）

『母子草の記憶』

小杉 健治/著

自分の過去を題材に作品を書くことと決意したノンフィクション作家の草下彰。彼が中学生のときに両親は殺害され、犯人はいまだ不明だった。唯一の手がかりは両親の殺害前に彼の家を訪ねてきた男で…。



『スリルライフ』

天才ではないが、天然でもない

新庄 剛志/著

奇想天外な言動の裏に隠された、「努力」と「人生哲学」とは。13の自伝的ストーリーと79の質問から、人間・新庄剛志の真の姿に迫る。

